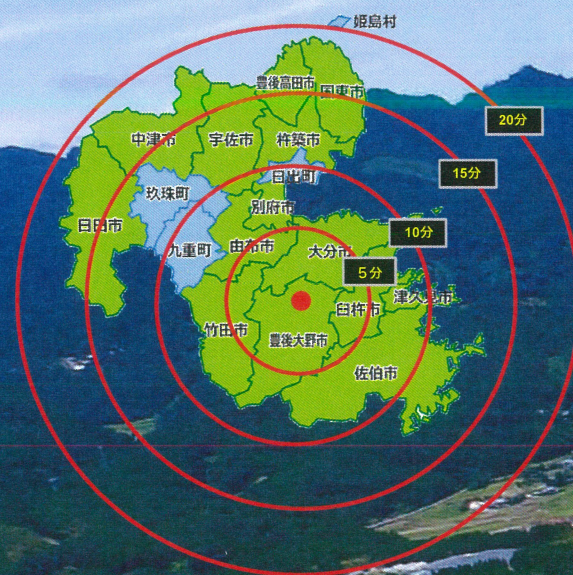


県内各地への到達時間の目安

救急・救助装備の場合
【最大巡航速度125kt(232km/h)】として計算
※天候・装備により変動します。



沿革

平成9年 4月	大分県防災航空隊発足
	川崎式BK117C-1型ヘリコプター導入
平成9年 6月	「とよかぜ」運用開始
平成21年 6月	防災航空管理監配置
平成22年 8月	防災航空管理アドバイザー配置
平成29年 6月	川崎式BK117C-2型ヘリコプター導入
平成29年10月	2代目「とよかぜ」運用開始
令和7年 9月	エアバス・ヘリコプターズ式BK117D-3導入
令和8年 5月	3代目「とよかぜ」運用開始

緊急要請時のフローチャート



大分県生活環境部防災局消防保安室

〒870-8501
大分県大分市大手町3丁目1番1号
TEL 097-506-3158
FAX 097-533-0930

大分県防災航空隊

〒879-6444
大分県豊後大野市大野町田代2592-2
TEL 0974-34-2192
FAX 0974-34-2195

大分県防災航空隊

Oita Disaster Prevention Air Corps



BK117 D-3 (JA314W)
3代目とよかぜ



OITADPAC



大分県

大分県防災航空隊



平成7年1月の阪神・淡路大震災では、道路も壊滅的な被害を受け、救助・支援活動が極めて困難になりました。この教訓から、大分県ではヘリコプターの機動力を活かした効果的な防災体制の構築を決定し、平成9年4月、豊後大野市の大分県央飛行場を拠点とする防災航空隊を発足させました。

以後、365日体制で救助・救急・消火活動等に従事し、県民の生命・財産を空から守る任務を継続しています。

主な活動内容

運行時間 午前8時30分から午後5時15分まで
(緊急時は日の出から日没まで)

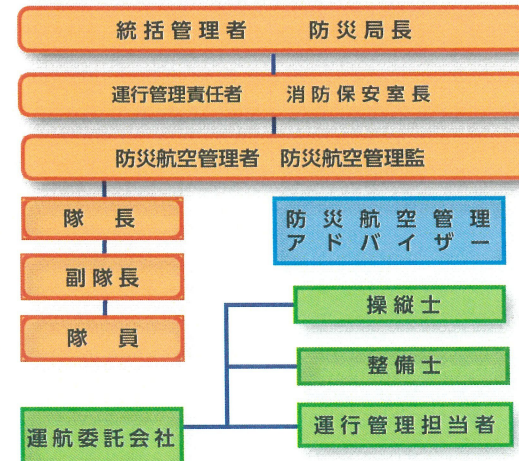
緊急運航

- 救助活動 山岳、水難事故等における捜索及び救助
- 救急活動 山村、離島等からの救急患者の搬送。医療機関への転院搬送
- 火災防衛活動 林野火災における空中消火。大規模火災等における情報収集
- 災害応急対策活動 地震、台風、豪雨、火山活動等の各種災害の状況把握
津波情報等の広報活動や海面監視
- 消防防災相互応援活動 防災消防ヘリコプター相互応援 広域航空消防応援

通常運航

- 自隊訓練 各種災害等を想定した活動訓練
- 災害予防対策活動 災害危険箇所等の調査
各種防災訓練等への参加や消防本部(局)との合同訓練
- 一般行政活動 産業廃棄物や不法投棄等のスカイパトロール等

組織体制



救助活動（ホイスト降下）



消火活動

「とよかぜ」の概要

機体番号 JA314W
3(三代目)14(とよ)W(wind:風)

機種

エアバス・ヘリコプターズ式BK117D-3型

諸元

全長/全高	13.54m/4.00m
全幅（ローター直径）	10.80m
最大全備重量	3,800kg
キャビン長さ	3.62m
キャビン幅	1.40m
最大座席数	12人
最高速度	270km/h
最大航続距離	650km
ホバリング最大可能時間	30分
ホバリング時最大救助人数	6人



主な装備

救助用ウインチ（ホイスト装置）



◆祭荷重 270kg
◆最大ケーブル 90m

ヘリコプターテレビ伝送装置



◆撮影した画像を県庁に伝送
◆赤外線撮影、自動追尾機能を搭載

消火設備（消火バケツ）



◆最大容量 800L

救急装備



◆生体情報測定や救命措置を実施